

令和7年度障害者差別解消法セミナーの実施報告

区民を対象とした障害者差別解消法の普及啓発セミナーについて、令和7年度は、区立障がい者福祉センターとの共催により、以下のとおり、対面で開催した。

新型コロナウイルス感染症の感染防止対策のため開始したウェブ配信については、今年度も実施することとし、動画編集が完了次第、区公式 YouTube にて公開する予定である。

1 セミナー概要

日時、会場	令和7年 12 月4日(木)18 時 30 分～20 時 00 分
講演タイトル	障がいのある方と、共に働くことを考える
講師	加藤 公一 氏 看護師(産業保健、両立支援分野)
申込	令和7年 9 月 10 日(水)～令和7年 11 月 28 日(金) まで 電子申請サービス等での申込
人数	15名
内容	「障がいのある方と、共に働くことを考える」 合理的配慮から考える心理的安全性のある職場環境の実現 ・障害者雇用における合理的配慮 ・当事者側と職場側との間での意思疎通のギャップ ・健康的人間像(人柄)を育む職場づくりに向けた取組 ・心理的安全性が生む「対話」がもつ可能性 ・会場からの質問
障がい当事者 向けの配慮	手話通訳

2 周知方法

- (1)区ホームページ内、障害者差別解消法ページへの掲載
- (2)広報いたばしへの掲載
- (3)チラシの送付(各福祉課、健康福祉センター、区民事務所、地域センター、図書館、ふれあい館等)
- (4)区公式 SNS
- (5)都営三田線の一部の駅構内で掲示

3 アンケート結果

会場で配布

(1)回答者数

14 名(回答率:93%)

(2)設問に対する回答

①年代

20 代以下	0人
30 代	1人
40 代	4人
50 代	6人
60 代以上	3人

②今回のセミナーは何で知りましたか。(複数回答可)

広報いたばし	5人
区公式 SNS	0人
チラシ	2人
区ホームページ	2人
障がい者福祉センターホームページ	1人
関係者・知人からの紹介	2人
その他	3人(板看同窓会、社会福祉協議会で紹介、障がい政策課の方からの案内)

③講演の理解度

とても分かりやすかった	10人
分かりやすかった	2人
ふつう	0人
分かりにくかった	2人
とても分かりにくかった	0人

(自由記述)

- ・対話や居場所の重要性がわかりました。実践ができたら一番だと思いつつ、目標ができて良かったです。ありがとうございました。
- ・資料も見やすく、話が具体的でとても良かったです。
- ・講師の話し方がやわらかく、とても聞きやすかった。「当事者と職場側との間での意思疎通のギャップ」にとても思い当たることがあり、意識を変えていけるきっかけになると感じた。
- ・雇用の合理的配慮について、理解することが出来た。「対話」の重要性を認識しつつも、運用の難しさを通念した。
- ・障害を持つ当事者ですが、障害者のキャリア形成に興味があり、参加しました。具体例を示しながら、現実路線で話して下さり、大変参考になりました。
- ・健康的な人間像と人柄を表現していらっしゃることに、まず心ひかれました。
- ・スライドの要点がつかみづらかった。芯は良く分かりました。
- ・結構内容が難しかった。具体的にどう対話していけばよいのか、なかなか難しいなと思った。

④申し込まれたきっかけをお聞かせください(自由記述)

自身または家族が障がい当事者だから	7人
障がい福祉関係の仕事をしているから	4人
職場で障がい者の方と、現在一緒に働いている又はその予定があるから	3人
その他	4人 ・ポイントを知りたかった。 ・精神障害のある方の自立、自由について考え、サポートしていきたいと思ったため ・福祉に関する勉強中です。 ・発達障害の息子が板橋区のチャレンジ就労にチャレンジしようとしている。

⑤今回の講演の感想や、今後聞いてみたい講演テーマについてお聞かせください。(自由記述)

- ・日々多忙すぎて疲弊していました。自分に何が出来るか、もう少し学んでいきます。リフレッシュ出来ました！
- ・福祉全般に関して、様々なテーマを学びたいと思います。
- ・障害を持つ当事者として「心理的安全性」はとても重要だと感じます。板橋区民として、ぜひ板橋区は障害者と共生できる場所だと言えるようにしてほしいと思います。
- ・加藤先生のお話、もっとききたい。
- ・勉強になりました。
- ・丁寧にお話してくださり、ありがとうございました。人柄に焦点をあてたお話を聞くことができ、支援者としてのあり方を考える機会になりました。

4 次年度に向けての検討内容(事務局案)

令和7年度は、令和6年度と同様に対面で開催している様子を動画撮影し、後日、編集した動画をオンラインで配信することで、対面形式とウェブ配信形式の両方の良さを活かすこととした。

また、開催時期については障がい者記念週間に合わせる形で記念週間と近い日程で実施した。しかし、なかなか参加人数が集まらない結果となったため、開催時期の見直しを行うとともに、障がい者記念週間でウェブ配信の申し込みができるような形に調整ができるよう検討していく。